

たたかえ！ ヒガシヤマン

round 33

必殺！

わー！

胴上げ



【必殺技】寝てもいいよ。

あと10分。あと3分。あとちょっと。

あと…(夢入り)。あともうちょっと、ぬくぬく二度寝したい心につけこむ敵。「もっと寝てもいいよ～」と眠りをさそう。テンピボシフトンの思惑に全力で乗っかった場合、スバラシイ睡眠を届けてくれるよき相棒となる。

【考案者】川瀬 亜衣

2010年より、作品制作・発表を行うことに決めた。写真、ドローイング、インスタレーション、パフォーマンス…etc 出力のかたちは様々。制作することで、「人が何かをおぼえ、忘れていくことの不思議」「変容してゆくこと」「移ろいゆくもの」を追いかけていく。本名で活動する他、2010年には「水鳥」の名で、ネオ舞踏カンパニー『4日前青空ダンス俱楽部』にて踊る。2012年には、東山青少年活動センターにてココロからだンスWS#7に参加。

東山青少年活動センターにひそかに存在するキャラクター・ヒガシヤマン。彼は目を覚ました。

「いい夢みさせてもらったよ」

卒業だけが人生じゃないさ。ヒガシヤマン、永遠の修行中！

©大畠栄里

ヒガシヤマンの返し技

【必殺！胴上げ】

春だ。卒業の季節だ。ヒーロー養成所・丹波橋校にかれこれ8年通い続けたヒガシヤマンも、今年ようやく単位が揃って卒業することになった！ これで晴れて一人前のヒーローだ。すっかり見知らぬ顔だらけになった仲間達からの祝福。2度3度胴上げされて宙を舞う、あいつは黄色いニュー・ヒーロー。おっと、ちょっと悪ノリしそうなみんなが手を引っ込めたので腰から落ちちゃったぞ。だけどあら不思議、ぜんぜん痛くない。痛くない。いたくない……？

文：筒井加寿子

ヒガシ ガシ

VOL.
33 ヒガシ
2012 SPRING



- 01**・たたかえ!ヒガシヤマン
- 02**・もくじ
- 03**・東山schedule
- 05**・【特集】東山再発見
- 08**・ヒガシヤマQ&A
- 09**・ワークショップななめ読み
- 10**・おも検／季節のイラスト
- 11**・ステージサポートプラン
- 13**・Higashiyama Youth



イラスト 奥田 恵理子【MEKKEY】

空腹を充たすために食べるスナック菓子のように、
東山の情報もかじつてほしい。
ヒガシ(干菓子)のイメージからくる季節感や彩りも
添えて。ヒガシガシは、そんな情報誌です。

東山schedule 2012

① 工作室開放「ヒガシヤマD E ものづくり」

4月		5月		6月	
1	日	火		金	①
2	月	水		土	
3	火	木	①	日	
4	水	金		月	
5	木	①	土	①	火
6	金	日		水	
7	土	①	月	木	①③
8	日	②	火	金	
9	月	②	水	土	①④
10	火	②	木	①	日 ②④
11	水	金		月	②
12	木	①	土	①	火 ②
13	金	日	②	水	
14	土	①②	月	②	木 ①③
15	日	②	火	②	金
16	月	②	水	土	①②
17	火		木 ①③	日	②
18	水	金		月	②
19	木	①	土 ①②	火	
20	金		日 ②	水	
21	土	①	月 ②	木	①③
22	日	火		金	
23	月	水		土	①
24	火		木 ①③	日	
25	水	金		月	
26	木	①	土 ①	火	
27	金		日	水	
28	土	①	月	木	①③
29	日	火		金	
30	月	水		土	①
31	火	木 ①③			

■は休館日です

創造工作室を使って、いろいろなものづくりができる空間を提供しています。電動ろくろ、電動糸のこ、ミシン、アイロンなど必要な道具がそろっているので、活用方法は使う人次第。

陶芸については土の量り売りや釉薬提供サービスなどもあり、初心者にもおすすめです。

ものづくりの場として気軽にご利用ください。

日 時:毎週木曜日17:00~21:00と毎週土曜日13:00~18:00

*木曜日が祝日の場合は開催していません。

定 員:なし

参加費:無料

*一部有料(陶芸用土:2kg 200円 他)

申込み受付:不要



② 焼成窯一般開放

月に1回偶数月が素焼き、奇数月が本焼きで、合窯で焼成します。

陶芸活動に関わる市民の方々に気軽に利用していただけます。

*詳しくは、お問い合わせください。

	受付期間	受取期間	
素焼き	4月8日~10日	14日~16日	
本焼き	5月13日~15日	19日~21日	
素焼き	6月10日~12日	16日~18日	
	500gまで	1.5kgまで	1.5kg以上
素焼き	100円	150円	200円
本焼き	200円	300円	400円

*1点が100g以下の作品は、まとめて300gまでを1点とします。

・持ちこめる作品数はお一人様5kgまで、

1.5kgを越える作品を含む場合は3点までです。

・大きさは1つにつき、幅50cm、高さ30cmまでです。

③ 演劇ピギナーズユニット2012参加者募集

演劇ピギナーズユニットは、演劇初心者のための講座です。参加した皆さんで、一つの舞台を創りあげます。演劇に興味はあったけどこれまで舞台に立つ機会がなかった、という方や、何か新しいことを始めたい、普段の生活にちょっと物足りなさを感じている方へ。表現の魅力、創る楽しさ、本格的な舞台に立つという貴重な体験ができる、ここに、新しいステージがあります。

わたしの好きなわたし、わたしの嫌いなわたし、わたしも知らなかつたわたしにも出会えます。
少しだけ勇気を出して、一步踏み出すきっかけにしてください。たくさんの応募をお待ちしています。

講座日程:5月24日(木)~9月6日(木)全38回

毎週月・木曜日18:00~21:00

*祝日は15:00~18:00、8月28日(火)18:00~21:00

(講座日程以外に自主練習をする可能性があります)

*説明会/5月17日(木)19:00~20:30

*公演日/9月1日(土)・2日(日)

*公演準備日/8月31日(金)

募集期間:4月5日(木)~5月14日(月)

参加対象:京都市に在住か在学・在勤の中学生から30歳までの方で、演劇初心者の方、またはそれに準ずると思われる方。

募集定員:17名(応募多数の場合は抽選、定員に満たなかつた場合は、5月15日以降も先着順で受け付けます)

参加費:30,000円(全38回の講座費用・公演費用一切込)

演出:山崎彬(悪い芝居/作家、演出家、俳優)

申込み:京都市東山青少年活動センターへ直接来館、または電話・E-mailにて受け付けます。

公演会場:京都市東山青少年活動センター 創造活動室

共催:NPO法人 京都舞台芸術協会

④ 中劇研「春の合同公演」

中劇研(京都市中学校教育研究会演劇部会)は、京都市内の公立・私立中学校演劇部の集まり。日頃の活動の成果を発表します。この催しは、「学校と青少年施設の連携」事業として、創活番(青少年ボランティア)の協力で実施します。

日 時:6月9日(土)・10日(日)入場無料

場 所:京都市東山青少年活動センター
創造活動室

【①③の事業について】

対象:京都市に在住もしくは在学・在勤されている13歳から30歳までの方

【②④の事業について】

対象:市民

いずれの事業も会場・問い合わせは京都市東山青少年活動センターまで。TEL 075-541-0619

ヒガシガシ編集スタッフ募集!

年4回、フリーペーパー「ヒガシガシ」の発行に向けて、紙面の構成、取材、編集、印刷、製本作業を行なうスタッフを募集しています。それぞれが得意分野を活かしながら、出会いや発見を大切に活動しています。

ぜひ一緒に活動しましょう!

対象:京都市に在住もしくは在学・在勤されている13歳から30歳までの方

東山再発見

特集

「きっかけは宝塚歌劇団。」

華やかなダンスに魅せられ、大学で舞踊を専攻しながら、サークル活動では創作ダンスに取り組む島彩乃さん。
いちから創って踊りを披露することへのやりがいを熱く語っていただきました！



ダンサー 島 彩乃さん

●—プロフィールをお願いします。

京都女子大学大学院に通う島彩乃です。大学院にて、舞踊を専攻しており、先生と一緒にコラボして踊ったり、学会等でダンスを発表したりしています。

●—舞踊を始めたきっかけを教えてください。

大学の創作舞踊部というサークルに入部したのがきっかけです。宝塚歌劇団に憧れ、「あんなふうに“表現する”ことができたらなあと思い、高校では、創作ダンスの授業をうけ、友達と一緒に踊ることがすごく楽しかったんです。もっと“ダンス”的奥深さを知りたいと感じるようになりました。大学へ入学後、創作舞踊部に入部しました。

●—なぜ創作ダンスを選んだんですか？

「創作してみたい！」という気持ちが強くなったのは、4回生の夏頃でしょうか。新歓イベントの際、先輩がすごく綺麗に踊っていて、「自分もこんなふうに美しいダンスを踊ってみたい！」と思いました。それから、いろいろなジャンルのダンスがありますが、創作ダンスでないものは「求めているものと違うな」という想いもありましたね。

●—具体的な活動内容を教えてください。

テーマを決めて、創っては踊り、創っては踊りの繰り返しですね。授業では、音楽・舞踊・造形・言語と4つの領域を勉強しており、あらゆることを飲み込まないといけないのが大変ですね。

●—どのようなテーマで踊られているんですか？

“自分の居場所さがし”です。今思っていること、感じていることなどをテーマにしていることが多いです。

例えば、時間が経過するにつれ、自分の感情も変化していきます。同じ作品を踊っても、同じように見えない場合もあり、違和感を覚えます。再演することも多々あり、そこまで自分のモチベーションを上げられるかが重要です。それが結構大変な作業になります。逆を言えば、そこまで持ていかないと披露はなかなかできないですね。

●――活動の中でのこだわりはありますか？

思いつきで作品を創ることもあれば、「踊ってみない？」と聞かれて踊るということもあります、どの場合でも、与えられた機会は絶対に逃さないようにしています。先生からもご指摘を受け、試行錯誤を繰り返しながら、表現の幅を広げ、現在では、新しい表現方法を探し求めています。「どこかで見たことある！」と言われるのは嬉しい反面、同じに見えるというのも悔しい気持ちもあり、「これ新しい踊りだ！」と言われるものを創っていきたいですね。

●――創作ダンスの振りはどのように創りますか？

もともと、ダンスの基礎を誰からも習っておらず、宝塚のDVDを見ながら、真似て踊ってみたりしましたが、「振り」そのものがなかなかつかめず、創作することがとても難しいと痛感していました。

大学では、基礎運動で振りを抜いてくるということを知りました。また、歩いているとき、掃除しているときなど、日常的な動きの中からも踊りを求めていました。組み合わせや、やり方次第で「歩く」というのも変わってきますし、振りがなくても、ダンスとして成立つようなものをやってみたいなと思っています。

●――今まで大変だったことは？

1回生の頃、右も左もわからず、そもそもどう練習していいかわからない、振りを一回教えられても、バレエをやっている人は、踊りをつかんでいるようでしたが、私はそれが全然理解できませんでしたし、振りも覚えられませんでした。今では、そのとき怖かった先輩たちの振

りちゃんと自分で残っていますし、自分自身の作品にも取り入れています。

学部4回生の時、先生が変わることにより、自分たちのやりたいと思っていること、作品への評価も変わってきました。自分たちの作品に、なかなか良いと太鼓判を押してくれないと、どこか悪いのではないかと思う一方、自分のやりたい踊りはこれだから、どうしても認めてほしいという、悔しい気持ちがありました。そこが作品を創るうえで一番の問題点になりました。

●――その葛藤はどのように対処したんですか？

先生から指摘を受けたところは、まずやってみる。やってから、「何か違うな」と、腑に落ちない状況に陥ったときに、先生に相談します。自分たちが納得できる作品であれば問題ありませんが、消化しきれない作品であれば、ずっとモヤモヤした気持ちを抱えたまま、中途半端な作品になる可能性もありますから。

●――嬉しかったときはどんなときですか？

一番嬉しいと思うのは、どれも同じなんですが、先生から認められたときです。先生は厳しい方で、いつも厳しい評価をされますが、そこには、生きるために踊りをしてきた人生そのものが踊りだったとい背景があります。お客様に楽しんでもらいたいという言葉にとても敏感な先生であり、感動を与えることではなく、自分がするものであるというこだわりをもっていらっしゃり、私と舞踊感が違うことを、率直に感じました。



先生が変わると部員の意識も変わってきます。そんな先生であるからこそ、認められたときの喜びは大きいですね。

●—1つの作品ができるまでの期間は？

3カ月程です。ソロの場合は、2週間程でできてしまうこともあります。毎日、同じ曲を聴き、同じテーマを深く考え、指摘を受け、修正し、披露して、大会、それの繰り返しですね。

●—他の人と意見が食い違うことは？

人それぞれ感じていることは違うので、当然あります。“居場所がどこかわからない”と言うことを言っても、共感してもらえる時もあれば、共感してもらえない時もあります。みんなが共通理解できるテーマでなければ、最終的に踊ったときに、浮いてくる、つまり違った動きになってしまうことがあります。なので、テーマ決めのときから話し合いをします。意見を取り交わすことで、考え方の違い、新たな発見につながりますが、それをまとめるのは至難の業ですね。

●—今後の展望は？

“自分が伝えたいこと”、“自分が感じていることを相手に伝えられる”、そういった作品を創りたいと思います。自分がこの先、どれだけ踊りを踊っていくのか…。全く見てこないし、わからないんですけど、将来、ずっと踊りとの関わりは持ち続けていきたいと思っています。踊っているほうがストレスも発散できますし、気持ちをダンスで間接的に表現することで、解消されることもあります。なのでこの先も、自分が自由に踊りができたらなと思っています。作品創りは苦しいですが、できあがって、みんなに観ていただいた時の反応は興味深いです。結果（良い反応でも悪い反応でも）がどうであれ、各々の踊りに対する受け止め方を知ることが、自分への刺激となり、また新しい踊りを創り、踊っていこうという活力になります。大衆受けする作品、舞踊家受けする作品は異なっていますから、自分の作品に対する批評をいただく

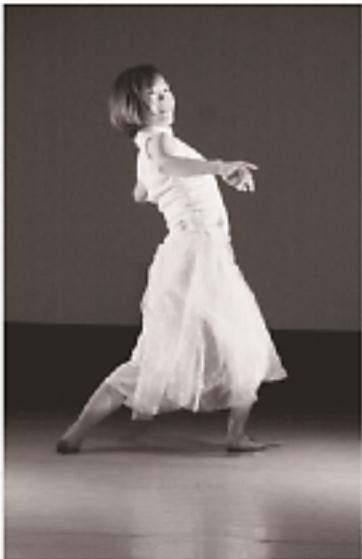
ことでも、視野が広がります。

●—では、最後に一言お願いします。

経験がなくても、踊りは何度かやっているうちに、ダンスになっていきます。人に何かを伝えるということを、難しく意識せず、表現することの一部だと思ってやってみると楽しいと思います。

新入部員は歓迎です！

●—ありがとうございました。



取材：谷口愛理(京都橘大学4回生)

鈴木けい(京都女子大学3回生)

編集：井上朋枝

ボランティア募集！

東山アートスペース

◎内容

知的な障がいのある青少年の余暇活動支援を目的としたアトリエ活動です。

◎対象

京都市にお住まいもしくは、通勤・通学先が京都市内にある高校生年代から30歳までの方。

◎日時

毎月2回、日曜日。

13:00～17:00

(ミーティングの時間含む)



ヒガシヤマ Q&A

Q.「あなたの節約術は?」

長引く経済不況、震災の影響、自然・環境保全など、さまざまな理由から、節約を心掛けている方も多いはず。そこで、今回は独自の節約術を聞いてみました。



A. 水道の水を出しつぱなしにしないこと

節電など実際に出来るから。072- (27歳 / 女性)

——身近なことから

コツコツとですね。

A. 息を食べる。

難しいです。サシの東 (21歳 / 男性)

——無茶をしてはダメですよ(笑)

A. 財布を捨てました。

イシダイ (21歳 / 男性)

——お金を持っているとついいつつ使ってしまいますよね。

A. エアコンは付けずに、コタツで過ごす。

エアコンは電気代高いらしいですよ。私はエアコンだと目が乾くから嫌なだけですけどね(笑)

ぐっち (22歳 / 女性)

——節電にもなってますね！ こたつにはいるとつい寝転がってしまいま
す味付けのりをしゃぶる。

貧乏なので、お腹を膨らますためにしゃぶるのです。何度も～何度も～As I can～ テイク (21歳 / 男性)

——食べ物を大切にありがとうございます。日本の心です！

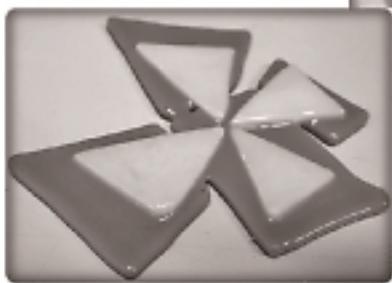
A. 移動できるかぎりチャリで。

交通費が以外と多いのです、出費が。京都はチャリである程度行けるので、チャリを活用しています。でも、最近チャリが厳しく扱われていて、肩身が狭いのですが… すずきくす (20歳 / 女性)

——自然に優しいし体を動かしているので良い運動にもなっていると思いますよ！



work shop



●概要

ガラスワークショップ 「ガラスのアクセサリーとオリジナル鏡」

自分でデザインをしてガラス板を組み合わせて焼成する、ヒュージングという技法でつくるアクセサリーと、サンドブラストで鏡を削り模様を入れた、オリジナル鏡をつくりました。

【日時】2月13日～2月27日(毎月曜日/全3回)

18:30～20:30

【参加人数】10名

【ナビゲーター】佐藤 聰(ガラス作家)

【参加費】1,500円(材料費込み)

【場所】京都市東山青少年活動センター

参加者の感想

- ・ここでしかできない体験ができた、面白かった。
- ・他の皆さんの作品に刺激された!
- ・皆さんとの交流が楽しかった。
- ・思い描いた通りにできあがらなかった。
けど、それが面白かった。

ガラスのワークショップのナビゲーターを担当した佐藤です。参加者のみなさんはガラスでの作品作りが初めてで、分からぬ事多かったですと思います。しかし自分のイメージを形にするために、楽しみながらも頑張って制作する姿が指導していく印象的でした。ガラスに絵を彫る技法では、イラスト集などに頼らず自分の絵を一生懸命描く方が多くいらっしゃいました。

ガラスのワークショップを通じて、参加者のみなさんに少しでも新しい発見があれば嬉しいと思っています。

(ナビゲーター佐藤 聰)



おも検、

<由来>

400年も昔、亡くなつて幽霊になつたお母さんが、毎晩飴を買いに來ていた。数日後、土の中から赤ちゃんの泣き声がして、掘り返すと飴を買いに來ていたお母さんの子どもであった。子を想う母の愛情から、幽靈子育て飴という名前となり、今も人々に愛されている。

(ヒガシガシ調べ)

東山青少年活動センターから徒歩3分。「京名物 幽靈子育飴」という気になる看板が、観光客で行列ができる時も、気になる真相をお店のお母さんに伺つきました。

テーマ：幽靈子育飴の真相は？

飴は400年以上前から売つていました。その頃はこの辺り一帯に御墓があつたんです。似たような話は全国各地にあるそうですが、“話”と“飴”が残っているのは京都だけなんですよ。『ゲゲゲの鬼太郎』でも、その最初の設定では、毎日、飴を買いに来る女性がいて、その後をつけついたら、墓場で泣いていた赤ん坊が鬼太郎であったという話なんですよ。

(みなとや幽靈子育飴本舗のお母さんより)



なんと麦芽飴、放射能防護効果があるとの研究が発表されているらしい。美味しいくて健康に子どもが育つ、奥深くて不思議な飴…癖になりそうです♪



懐かしい味。

麦芽から作られているらしい。

●検証・編集：ヒガシガシボランティア

季節のイラスト

テーマ：「春一番をイラストにすると？」



このコーナーでは、テーマにそったイラストを募集し、いくつかの作品を紹介しています。

●編集：水野 里織(大阪デザイナー専門学校2回生)



STAGE SUPPORT PLAN

ステージサポートプラン

4月～6月



*応募には まず、担当者にご相談ください。

*企画書の提出(公演希望日、公演内容やセンターで公演をしてみたい理由を書いてください)
..... 公演しようとする月の4ヵ月前の20日まで

*個別面談 応募された全てのグループと面談(応募締切日より10日以内)

*決定 東山青少年活動センタースタッフとボランティアで選考の上、支援公演を行っていただけるグループを決定(公演しようとする月の4ヵ月前の月の末日)。



創活番ボランティア募集中！

「創活番」とはステージサポートプランのお手伝いをするボランティアチームです。この度、新メンバーを募集しています。

何か新しいことを始めてみたいと思っている方におすすめです。

照明や音響、舞台の知識も身につきます。詳しくはお問い合わせください！

■ ユニット概念 「電話」



いつまでも大人になれない男、徳永の元に、毎夜のようにかかる間違い電話。その奇妙な電話によって、徳永の人生は少しづつ、しかし確実に変容していく。

【HP】<http://unitgainen.blog.fc2.com>

東山青少年活動センターが自主公演の支援をします。初心者から経験者まで、いろんな人たちに東山にある創造活動室を利用してほしい。だから次のようなグループの公演を応援しています。

- ① First Trial (活動経験の浅い人たち)
- ② チャレンジ！(何か新しいことに挑戦しようという人たち)
- ③ 東山のおススメ！(京都を中心にがんばって活動している人たち)

★詳しいことのお問い合わせは→東山青少年活動センターへ

<http://ys-kyoto.org/higashiyama>

HPでも
ご質問頂けます。

4/20(金)18:00

21(土)14:00/18:00

22(日)13:00

前売 600円

当日 800円

○お問い合わせ…

080-5665-3292

(制作/渡辺)



■ 劇団しようよ「ガールズ、遠くーバージンセンチネル」

昨年7月からの路上パフォーマンス『ガールズ、遠く』の完結公演です。拡声器と生演奏にのせ、総勢11人が蝶のように舞い、蜂のように刺す70分をお届けします。

【HP】<http://gkd-444.net/>
○お問い合わせ… gkd_444@yahoo.co.jp

4/26(木)19:00

*プレビュー公演

27(金)19:00

28(土)15:00/19:00

29(日)11:00/15:00

30(月)13:00

前売1,000円/当日1,300円
プレビュー800円

※すべての演劇公演の開場は開演時間の30分前です。

■ ヴォーカルグループOra

「歌の世界へ」



4人の若手声楽家による小さな音楽会です。第一部では日本と欧州の歌曲を、第二部ではオペラ〈愛の妙薬〉と、
〈ラ・ボエーム〉よりシーン抜粋でお届けします。

5/20(日)14:00

一般1,000円/大学生800円
高校生以下500円

○お問い合わせ…
070-5655-8624
(ことり音楽企画)

HIGASHIYAMA STAGE SUPPORT PLAN YU'Z

表現活動応援します!

- 3ヶ月先までの部屋(最大24時間)無料で使用できます。
 - ▼対象は、京都市に在住もしくは、通学・通勤している、概ね13~30歳のメンバーが中心であること。
 - ▼発表や公演の日時・場所が決定しているグループ。
- *詳しくは東山青少年活動センターへお問い合わせください。

公演・発表が決まった!
まず、担当者にご相談ください。

応募

申請書の内容

*センター指定の用紙に記入していただきます。

決定

■代表者の氏名、連絡先

■公演日、公演場所など

■団体、ユニットの簡単なプロフィール

■今回の公演や発表で実現したいことなど

予約

■利用希望日

Higashiyama Youth

東山センターを利用している青少年にインタビュー

今回お話を伺ったのは「学生団体CLUB ATTRACTION」の田中さん、森さん、高瀬さん、観測さんです。学校の垣根を越えて支え合う、熱いグループです。

「子どもが好き!一緒に何かしたい!」という想いから2010年に結成。さまざまな学校に通う学生25名で構成されています。

——グループ名の由来を教えてください。

田中 「attraction」とは「魅力」という意味があります。"学生と子どもと地域の魅力を引き出そう"という願いを込めて"CLUB ATTRACTION"と名前をつけました。

——グループを始めたきっかけは?

田中 始めは私の思いつきだったんです。現在は佛教大学の3回生ですが、1回生の時に副代表の森君を誘って本格的にグループとして立ち上げました。

森 それから友だちを誘って、その友だちが友だちを誘ってメンバーが増えていきました。先日までは40名ほどいましたが、短大・専門学校生が多くて卒業してしまいました。現在は25名が在籍しています。教育系の学部に偏らず、栄養や環境、その他幅広い分野の学生が「子どもが好き」というキーワードで集まっていることがこの団体の特徴です。それぞれ違った視点や価値観を持っているのでお互いに刺激し合っています。

——団体について教えてください。

田中 設立は2010年11月19日です。滋賀県野洲市にある希望ヶ丘文化公園で「あおぞら教室」という事業を実施しています。公園に遊びに来ている子どもたちに声をかけ、一緒に遊んでいます。その他新年度からは、小学生対象の年間を通した事業として「にこにこ☆ふれんす」を計画しています。滋賀県のさまざまなどころに出かけ、

外で遊ぶ楽しさ、季節を感じてもらいます。この事業の広報チラシを多くの小学校で配布させていただいていますが、思うように申し込みにつながっていないのが現状です。

——新しい事業はどんなものですか?

森 3月にオリエンテーションを実施します。希望ヶ丘文化公園でウォークラリーをします。新しい学年に上がる前にいろいろな学校の友だちと出会い、関係作りを経験してもらいます。

——今までの活動について教えてください。

田中 昨年5月に希望ヶ丘文化公園とタイアップして初めて「あおぞら教室」を始めました。10月には外で遊べる工作グッズを作ろうという企画を立て、凧やペットボトルロケットを作りました。

森 「にこにこ☆とらべらー」という事業では、子どもたちと一緒に地域を探検して、子どもたちの知識を深め、地域の魅力を感じてもらいました。

——アイデアや内容はどのように考えるのですか?

田中 3カ月くらいかけて案を出し合い、何度もミーティングを重ねて企画を練ります。その後、4~5チームでプレゼンテーションして、スタッフみんなの同意が得られた企画を採用します。



——大変なことはありますか?

田中 いろいろな分野の学生が集まっているだけに、たくさんの意見をひとつにまとめるにいつも苦戦しています。

森 みんなが納得できるようにとことん話し合い、折り合いをつけます。時間を気にせずにやっていたらいつの間にかセンターの閉館時間になっていたり、Skypeで会議をしている時は次の日の朝になっていることもあります。

——センターではどんなことをしていますか?

田中 団体の説明会やミーティング、事業のシミュレーションで使わせていただいている。

——活動時間は自分にとってどんなものですか?

観測 友だちに誘われてこの団体に入りました。子どもたちを預かるという責任から、真剣に取り組むようになります。今では自分の生活の一部になっていますね。すごく大事な時間にもなっていると思います。

高瀬 子どもが好きという軽い気持ちで入りました。入ったばかりなので活動はまだ少ししか参加してないですが、みんないろいろなことを考えているなと感じています。今回の事業ではリーダーに任命されて、この団体のことを真剣に考えるようになりました。とても楽しい時間を過ごしています。過去最高の「あおぞら教室」にしたいと思っています。

森 団体は自分の日常の一部になっています。この団体に入って本気で言い合える仲間に出会うことができました。いろいろな価値観に出会えたことが多くの学びになったと思います。

田中 夢になりそうなぐらい悩んだこともあります

が、僕を支えてくれるアットホームな仲間がいたから、今もこうして活動ができるのだと痛感しています。本気で言い合える仲間ができたのも、時には支え合うという過程を踏んでいます。新しい仲間とも、絆を深めていきたいです。スタッフには最後に「最高!」と言ってもらったら本当に最高ですね。ぼろぼろ嬉しく泣きながらそこに自分がいることを祈っています。おじいさんおばあさんになった時でも、大学生の時はすごく熱かったなって語るようにしたいです。たった4年、短大生なら2年という短い時間が最高の時間になるようにいつも心がけていかなければいけませんね。

——今後の目標は?

田中 今あるプランを一つ一つクリアすることですね。みんなが自分の魅力を最大限に引き出して、今よりもっと楽しい団体にしたいと思っています。

——では、最後にメンバー募集の告知をどうぞ!

高瀬 新メンバー待ってるよ!

田中 イケメン、美女が待ってるよ!

——ありがとうございました。



学生団体 CLUB ATTRACTION
URL www.club-atraction2525.com

取材/編集:安足由佳(京都橘大学4回生)

ヒガシ
vol.33
2012 SPRING

●編集・発行 京都市／(公財)京都市ユースサービス協会

●表紙デザイン 大庭佑子

(公財)京都市ユースサービス協会とは…

「若い人たちの社会参加の機会を広げ、責任ある若き市民に成長できるよう、そのために必要な自主的な活動を支援していく」というユースサービスの考え方をもとに、青少年の持つパワーが社会の中で活かされるためのサポートをしています。

